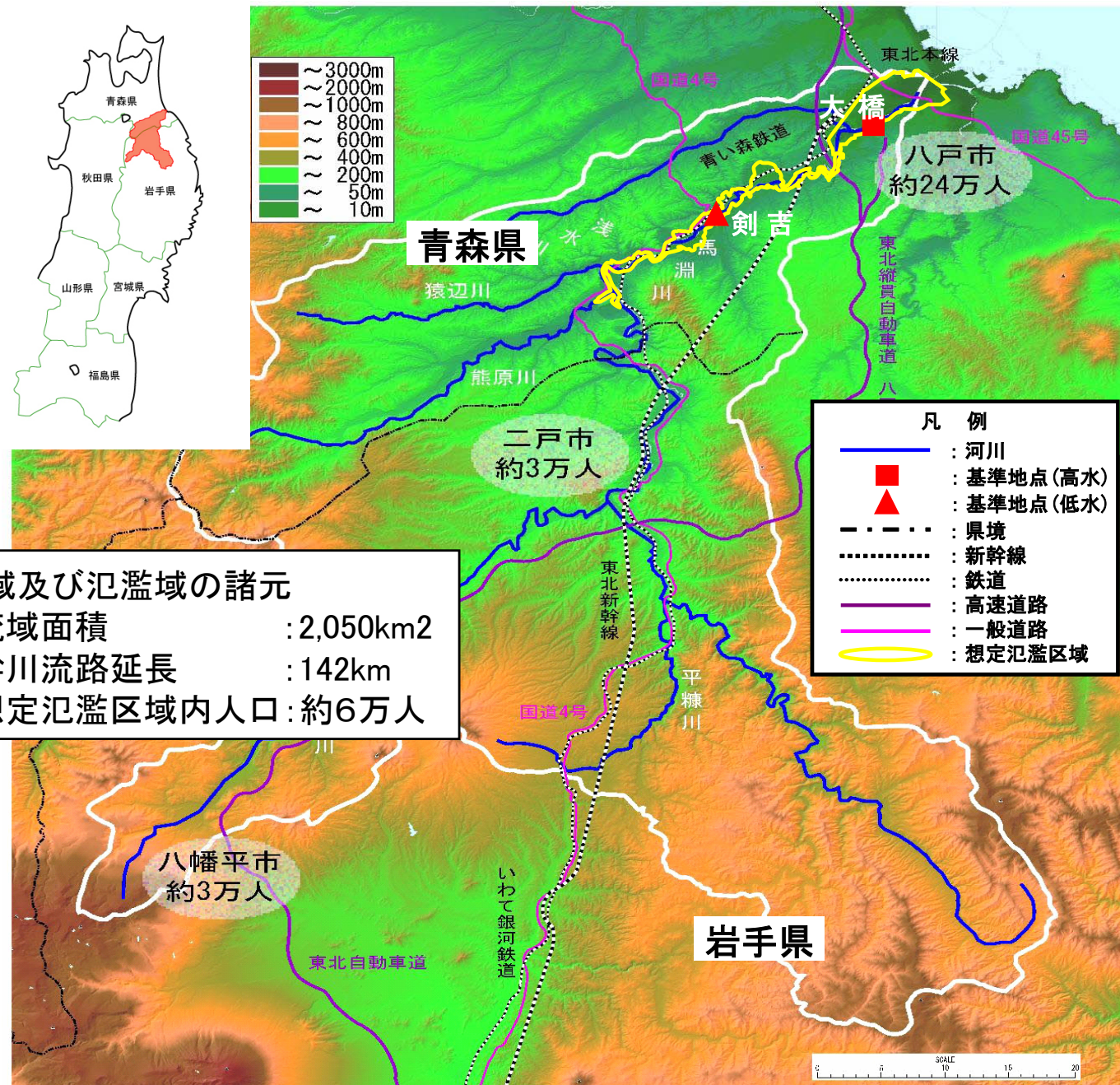


# 馬淵川水系河川整備基本方針の概要

## 流域及び河川の概要

- 下流部には青森県の第二の都市八戸市（約24万人）があり、人口、資産が集中し、氾濫域も広範囲
- 八戸平野を流れる勾配が緩やかな下流部に対して、中上流部は大部分が急勾配で川幅も狭い山間狭窄区間



## 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

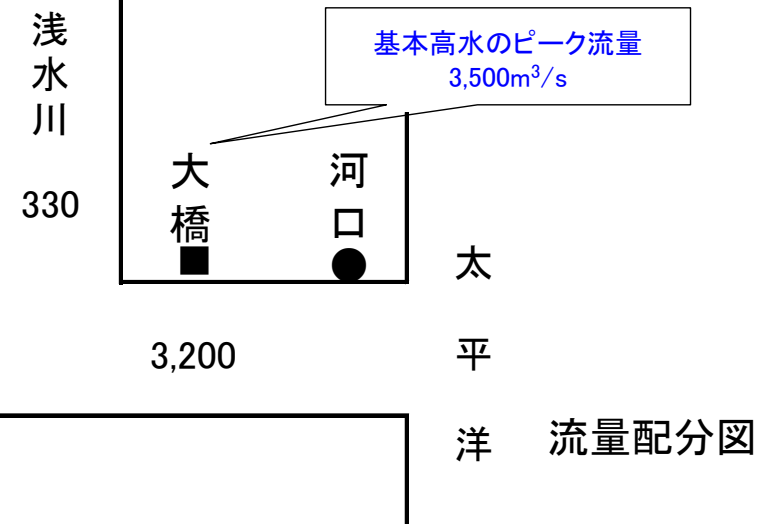
- 広域的かつ合理的な水利用の促進を図るなど、今後とも関係機関と連携して必要な流量の確保に努める
- 剣吉地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は概ね16m<sup>3</sup>/sとし、以て流水の適正な管理、円滑な水利使用、河川環境の保全等に資する

## 災害の発生防止又は軽減

- 工事実施基本計画策定後に計画を変更するような出水は発生しておらず、流量確率手法による検証及び既往洪水からの検証により、基本方針においても既定計画の基本高水のピーク流量を基準地点大橋地点で3,500m<sup>3</sup>/sと設定

単位 : m<sup>3</sup>/s

- : 基準地点
- : 主要な地点



- 基本高水流量と計画高水流量の差分については、洪水調節施設により対応
- 八戸市中心部を貫流する下流部は、堤防防護のために最低限必要な高水敷幅の確保、河道の安定性を考慮した河道掘削により、3,200m<sup>3</sup>/sの流下能力を確保することが可能
- 中流部は、遊水機能を活かした洪水調節により河道負担を軽減させるとともに、河道や沿川状況等を踏まえ、地域との合意形成を図りつつ、輪中堤や宅地の嵩上げ等の対策を実施
- 上流部については、大規模な河道掘削を行わず、良好な河川環境等に配慮

## 河川環境の整備と保全

- 中上流部は、山間狭窄部を流下し、自然豊かな河川環境を呈しているため自然環境に影響を与える河川改修及び河道掘削は極力回避
- 下流部は、多様な魚種が生息する良好な河川環境を維持するとともに、公園等の整備された高水敷のレクリエーション活動の場としての機能を維持



青森県RDB: 最重要希少野生生物